

情報化施工研修会のご案内 ～ICT建設機械の現地研修～

ICTを活用した新しい施工技術である情報化施工は、施工品質の向上や熟練度に左右されない高い精度の施工などを実現する方法として、更なる普及が期待されています。昨年7月、情報化施工の普及方策として、国土交通省が設置した『情報化施工推進会議』は、「情報化施工推進戦略」を提言しましたが、その中でも「人材育成」が非常に重要であることを指摘しています。

(社)日本建設機械化協会は、3次元データを利用した建設機械制御に関する実践的な教育により、情報化施工に対応できる技術者を育成することを目的として、「情報化施工研修会」を開催しております。今回の研修会は下記日程で実施することとしておりますので、研修生の募集についてご案内申し上げます。

記

1. 開催日程： 平成21年10月21日(水)～22日(木)
平成21年11月26日(木)～27日(金)
2. 場 所：(社)日本建設機械化協会施工技術総合研究所（静岡県富士市大淵3154）
『情報化施工・安全教育研修センター』
3. 主 催：社団法人 日本建設機械化協会
4. 対 象：建設現場管理者、建設機械オペレーター、その他マシンコントロールの体験あるいは習得を希望する方。
5. 研修会のコース

コース名	研 修 目 標	受 講 資 格	受 講 費 用
体験コース (開催期間 初日の1日) CPDS認定研 修(6unit) 定員:20名	○マシンコントロール(MC)を用いた施工の概要(システム構成、運用)を把握する ○マシンコントロール(MC)用データを使用した 実機施工を試乗体験 する	①特になし (「車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習」修了者であれば、施工機械の運転体験が可能)	20,000円/人
実務コース (2日間) CPDS認定研 修(14unit) 定員:20名	○設計図面を読みMC用データ作成をマスターする ○測量データを利用し データ作成、出来形管理の基本 を習得する ○ 実機を用いた実習 によりMC施工の基本を習得する	①特になし (「車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習」修了者であれば、施工機械の運転体験が可能)	88,000円/人 ○研修用パソコンの利用 (一人1台) ○「 研修修了証 」を発行

- ・体験コースを既に受講した方が**実務コースを再受講する場合、68,000円/人**で受講できます。
- ・主に、**10月の研修会では、ニコン・トリンプル社製のシステム、11月の研修会では、トプコン社製のシステム**を使用して実施します。
- ・受講費用には、建機・機材のレンタル費、パソコンの利用、傷害保険、テキストなどの費用が含まれています。宿泊費、食事代は含みません。
- ・ヘルメット、安全チョッキは当方で準備します。なお、実習の際は安全靴の着用をお願いします。
- ・諸般の事情により内容を変更する場合があります。

6. 研修カリキュラム

第1日目 (午前) (9:30～ 受付)		第1日目 (午前) (9:30～ 受付)		第2日目 (午前)			
9:45～ 9:55	主催者挨拶	9:45～ 9:55	「体験コース」と 同じ内容で実施	8:30～ 10:00	マシンコントロール 用設計データの作成 (3) (専用ツール、 三次元CADの 利用によるTIN データの作成)		
9:55～ 10:25	情報化施工の動向	9:55～ 10:25		10:00～ 12:00	マシンコントロール のハード設定 (現場実習)		
10:25～ 11:25	マシンコントロール システムの概要	10:25～ 11:25					
11:35～ 12:15	締固め情報化施工と TS出来形管理の概 要	11:35～ 12:15					
第1日目 (午後)		第1日目 (午後)		第2日目 (午後)			
体験 コース	13:15～ 16:00	MC、MG、TS 出来形管理の現場 体験 ①モータグレーダ ②ブルドーザ ③振動ローラ ④TS出来形管理		13:00～ 16:00	MC、MG、TS 出来形管理の施工 実習 (現場実習) ①モータグレーダ ②ブルドーザ ③振動ローラ ④油圧ショベル ⑤TS出来形管理		
		16:00～ 16:30	質疑、終了			16:00～ 16:30	質疑、終了
実務 コース	13:15～ 13:55	情報化施工と管理 要領 等		16:00～ 16:30	質疑、終了		
	13:55～ 14:55	マシンコントロール用 設計データの概要					
	15:05～ 16:35	マシンコントロール 用設計データの 作成 (1) (路線 データによる作成 演習)					
	16:45～ 17:25	マシンコントロール 用設計データの 作成 (2) (T I Nデータによる作 成演習)					

7. 講 師：(社)日本建設機械化協会その他、施工会社、建設機械、測量器械メーカーなどの
専門家



受 講 風 景



実地研修場所全景

8. お申込み方法：参加申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送、Faxまたはメールにてお申込み下さい。

(社)日本建設機械化協会 施工技術総合研究所(<http://www.cmi.or.jp/>)

〒417-0801 静岡県富士市大淵3154 電 話：0545-35-0212

Fax：0545-35-3719 E-mail：joho-kenshu@cmi.or.jp

9. お問い合わせ先：(社)日本建設機械化協会 (担当：白鳥)

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8 (機械振興会館)

TEL：03-3433-1501 Fax：03-3432-0289